

第4回浦添市景観まちづくり市民会議は、10月31日(火)に浦添市役所9階講堂で開催され、市民会議の委員17名をはじめ、都市計画課や文化課等の市の担当職員が参加しました。

第4回では、浦添市の将来像、将来のイメージ、また地域がこうなってほしいというようなまちの目標を出し合い、意見交換を行いました。その主な内容を以下に紹介します。



◆これまでグループ作業の際のリーダー、友寄さん・安里さんから意見を出していただき、議論が始まりました。

◎風景づくりをするときには、そこに住む人々が地域に愛着やアイデンティティをもっているかが重要ということで次の目標を考えた。

①浦添を抱く緑の骨格を守り

・馬蹄型の骨格だけでなく、手の指のような地形の起伏の変化も表現したい。「抱く」は、浦添を囲むとか手で包んでいるイメージ。緑の骨格の再生なのか守っていくのかについては議論したい。

②緑豊かな沿道、調和あるまち並みをつくり

・学園通りやシーサー通りなど街の中の道路規模の目標・イメージ。国道330号や58号は大きな骨格としてまた別のレベルで考えるべきものであると考える。国道330号は浦添全体の顔づくりができると思う。58号は浦添だけでなく、県の中南部広域レベルの顔となる。

③豊かな緑と都市の水辺を再生する

・カーミージー、都市河川、湧水、河口部分の水辺の再生は課題も多くあげられていた。

④王朝ゆかりの歴史と伝統を継承し、浦添の地域文化を育む

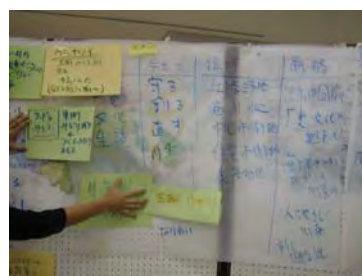
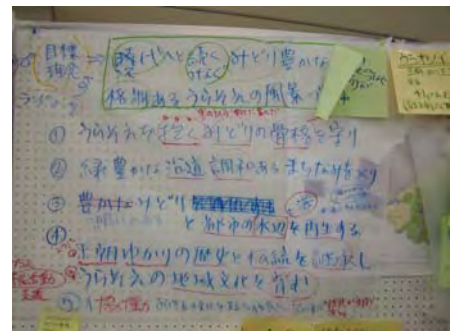
・歴史と一言で表現するよりも、浦添市民や浦添市と関わる人々にとって誇りに感じる表現を入れたい。
・後半の地域文化を育むは王朝ゆかりのものでなくても、浦添の地域の文化、地域の資源(シーサー通り、カーミージー)を育むという意味。

理念:次代へとつづく(orつなぐ)緑豊かな格調の高い浦添の風景をつくる

・格調高いは、歴史性、自分たちがこれからつくる文化も含めて格調高いものを育むという意味

◎「抱く」は入れていきたい。大きな翼、両翼(骨格)に包まれているイメージ。さらに、それらに守られて、各集落がある。グスクまちということはよいが、他の集落についても踏まえて考えなければならない。また、各集落での活動や営みがある。生活景ということもいれてはどうか。(まつりなども)ていーあんだー←ことばを入れたい。手づくりに、丁寧に時代を積み重ねてくというようにことをいれていきたい。「土地」の土地を記憶を刻む

- ①浦添を抱く石灰岩段丘の大きな両翼
- ②生活景を彩る水・緑・コミュニティ
- ③湧水など次代への財産づくり
- ④地域の生活文化に根ざした営みや活動を行います
(生活景をつくるのは住民)
- ④地域のまつり・住民活動



多くの目標がだされました

◎池田代表よりイメージ出しの視点として参考までにということで以下のポイントを紹介して頂きました。

◆テーマ→①自然 ②歴史 ③文化 ④生活 ⑤活動

◆手だて→①守る ②創る ③直す

◆場所→①丘陵、緑地 ②海、河川、水辺 ③中心市街地 ④住宅市街地 ⑤集落地区

・丘陵や緑地、川、海はこれまで意見があがってきているが、③中心市街地や④住宅市街地は、将来どのようなイメージか意見が少ないように思う。

◆戦略（浦添らしさをどうすすめていくのか、すべて広く、同時すすめることができないので、しぼりこみ、重点化が必要） ↓

①歴史文化の拠点・軸・ルート（両翼の話、歴史文化はやはり必要ではないか）

②成熟したまち並み（浦添市はこれまで成長してきた。これからは落ち着きのあるまち、成熟したまちなみをめざすという時期にきたのではないか）

③人にやさしい街なみ、街角（浦添市は福祉もがんばっている。人にやさしい。これも景観づくりの戦略になる。段差のないものを）

⑤企業が率先して創るまち並み（今回新しいものを1つでもやってもらいたい。企業が多く立地しているので、企業がつくる、企業が率先してつくるまちなみみたいなものができるか。常に新しいものを発信する必要がある）

⑥国際交流のまち（国際的なものを景観づくりの視点に泉州市との交流の積み重ねもある）

その他のメンバーからも、将来像やイメージ、目標について、重要なキーワードなどがたくさん、たくさん出ました。一部ですが分類して紹介します。

★自然

100年後の景観をつくる（再生・創出）／キャンプキンザーにまとまった緑を創っていく／緑の稜線と建物のスカイラインを守る／変化のある地形を活かした景観づくり／豊かな緑と都市の水辺を再生する／潤いのある緑と都市の水辺を再生する（海辺も加える）／2つのタイプの河川を活かした景観／西原町などを巻き込んで清流を取り戻す必要がある／海岸・河口・河川をつなげて景観をつくる水の大循環／里浜づくり／潮の薫りをいざなう海

★歴史

市民の心のランドマーク浦添城跡／市民アイデンティティにつながる歴史文化／王朝ゆかりの地を第1としたい、理念にも入れたい／ランドマークの保全活用（こころの拠り所も含めた）／王朝文化発祥よりウラオソイの方が良いのでは／浦添市を内外に発信するために琉球王朝発祥の地のようなものでよいのでは／極楽寺の復元

★文化

地域生活文化に根ざした営みや活動を行います／生活景を彩る宝の発見／歩いて楽しい組踊りの道づくり／国際性を活かしたまち

★生活

生活景を彩る水・緑・コミュニティ／季節を感じる植栽／緑と水辺をまとめ「うるおい」としては／うるおいはある緑の沿道づくり／潤いのある緑と都市の水辺を再生する（海辺も加える）／豊かな水辺の再生／王朝ゆかりの地から緑でつなぐ未来都市うらそえ／緑豊かな沿道（商店街、産業地帯もを緑を包んでいきたい）／くらしの景を活かした景観づくり／生活景を彩る宝の発見／歩いて楽しい組踊りの道づくり／風景の風はらしさ、うらそえ風の景づくり／なりわい、人なみ／企業がつくるまち／産業景／産業地区は産業の景観／色とともに材質も大切／材質は多孔質がうるおいと落ち着きを与える

★活動

行政、市民、企業の協働による地域景観づくりの実践／市民一人ひとりが学び取り組むまちづくり／地域の活動を前面に出した心の風景づくり／ティーダヌファー心の風景づくり／浦添の文化を支える住民と協働してつくる風景づくり／市民が率先して取り組めるような支援策／市民による景観づくりへのバックアップ／次世代に継承する時間の概念を入れたい／理念のところで住民が主体的に動くというキーワード入れたい／ていーあんだー／「土地」の記憶を刻む